

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2760

国際ロータリー2760地区 活動案内

ロータリークラブは、世界207カ国に123万人の会員を擁する世界最大の国際的奉仕団体です。

日本国内には、34の地区に約10万人の会員が所属し、人道的奉仕とネットワークを築く活動をしています。

愛知県は、国際ロータリーの第2760地区として、82のクラブに、約5,000名の会員が所属しています。

私たちは、ロータリークラブの会員を「ロータリアン」と呼びます。

みなさんの「ロータリアン」は、

すべての「ロータリアン」は、
最も信頼できる
友人であり、職業や地域・
国を超えた友愛の絆で
結ばれています。

すべての「ロータリアン」は、
毎週1回の例会に出席する
義務を持つと同時に、
世界中のロータリークラブで
行われる例会に出席できる
権利を持っています。

すべての「ロータリアン」は、
年功に関係なく平等であり
お互いが尊敬と信頼で結ばれ、
その友好の輪は家族を
含めた広がりを持ちます。

すべての「ロータリアン」は、
自らの職業を通じて、
地域社会へ貢献する
ためのスキルアップに
努め、すべての職業に
おける高い道徳水準を
推進しています。

すべての「ロータリアン」は、
ロータリーの二員であることに
最高の誇りを持っています。

ロータリーの誕生



ポール・ハリス

20世紀初頭のシカゴの街は、著しい社会経済発展の陰で、商業道徳の欠如が目につくようになっていました。ちょうどその頃、ここに事務所を構えていた青年弁護士ポール・ハリスはこの風潮に耐えかね、友人3人と語らって、お互いに信頼のできる公正な取引をし、仕事上の付き合いがそのまま親友関係にまで発展するような仲間を増やしたい、という趣旨でロータリークラブという会合を考えました。ロータリーとは、集会を各自の事務所で持ち回り、順番に開くことから名付けられたものです。

こうして1905年2月23日に、シカゴロータリークラブが誕生しました。以降、志を同じくするクラブが次々と各地に生まれ、国境を越えて、今では200以上の国と地域に広がり、クラブ数33,446、会員総数1,227,369人(2009年4月30日HRI公式発表)に達しています。

このように、歴史的に見てもロータリーとは職業倫理を重んじる実業人、専門職業人の集まりなのです。その組織が地球の隅々にまで拡大するにつれて、ロータリーは世界に眼を開いて、幅広い奉仕活動を求められるようになり、現在は多方面にわたって多くの貢献をしています。

著名なロータリアン

● **パウル・トーマス・マン**
[小説家・ノーベル文学賞受賞者]

● **アルベルト・シュヴァイツァー**
[学者・医者・ノーベル平和賞受賞者]

● **ウィンストン・チャーチル**
[第61・63代イギリス首相]

● **マーガレット・サッチャー**
[第71代イギリス首相]

● **ハッサン2世**[モロッコ国王]

● **ボードゥアン1世**[ベルギー国王]

● **アルベール2世**[ベルギー国王]

● **グリエルモ・マルコーニ**
[研究者・ノーベル物理学賞受賞者]

● **フィリップ・マウントバッテン**
[エディンバラ公]

日本ロータリーの歴史



米山 梅吉

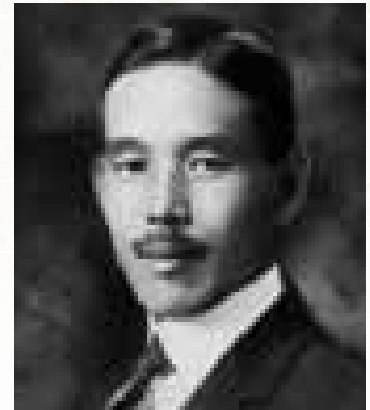
我が国最初のロータリークラブは、1920(大正9)年10月20日に創立された東京ロータリークラブで、翌1921年4月1日に、世界で855番目のクラブとして国際ロータリーに加盟が承認されました。

日本でのロータリークラブ設立については、ポール・ハリスの片腕としてロータリーの組織をつくり、海外拡大に情熱的に取り組んだ初代事務総長チェリスリー・ベリーと、創立の準備に奔走した米山梅吉、福島喜三次などの先達の功を忘れることができません。

その後、日本のロータリーは第二次世界大戦の波に洗われ、1940年に国際ロータリーから脱会します。戦後の1940年3月に再び復帰加盟しますが、このとき復帰に尽力してくれたのが国際ロータリーの第3代事務総長ジョージ・ミーンズでした。

その後の日本におけるロータリーの拡大発展は、目覚ましいものがあります。ロータリー財団への貢献も抜群で、今や国際ロータリーにおける日本の地位は不動のものになりました。

現在、日本全体でのクラブ数は2,302、会員総数91,592人(2009年6月末現在)となっています。



福島 喜三次



活動内容

ロータリークラブの活動は、次の5つの部門に分けられます。これを「五大奉仕」と呼びます。

クラブ奉仕 Club Service

ロータリーの第一奉仕部門で、例会に始まるロータリーの会合への出席奨励、会員の職業分類の整備、クラブ会報刊行、親睦事業や例会のプログラム設定、ロータリーの雑誌についての案内、会員増強、ロータリーの一般の方への広報、ロータリー情報の指導など、クラブの運営に関わるものを指します。

職業奉仕 Vocational Service

ロータリーの第二奉仕部門で、あらゆる有用な職業の価値を認め、自分の職業を律し、道徳的水準と品位を高めることに努めます。また、業務を通じて職場や地域社会で奉仕の理想を推進します。自らの職業を「4つのテスト」に照らして推進することが職業奉仕の基本です。

※「4つのテスト」はパンフレット裏面に記載

社会奉仕 Community Service

ロータリーの第三奉仕部門で、地域社会の人々の生活の質を高めるためのさまざまな活動です。社会奉仕には、ロータリーをより良い生活への希望の源とみなす青少年、高齢者、体の不自由な人々への支援などが含まれます。

国際奉仕 International Service

ロータリーの第四奉仕部門で、国際理解、親善、平和を維持するために実施する、数多くのプログラムや活動を含んでいます。多くの国際奉仕プロジェクトは、発展途上国の人道的ニーズを満たすことを目的とし、また異なる国や文化の人々に対する認識を培うことを助長する活動です。世界社会奉仕(WCS)、識字率向上活動などを含みます。

新世代奉仕 Oncoming generation Service

ロータリーの第五奉仕部門で、青少年の指導力養成、社会奉仕・国際奉仕プロジェクトへの参加など、次世代を担う若者を育てる活動です。高校生の海外派遣(青少年交換)を含みます。





▲ポリオ撲滅への活動

世界中のさまざまな地域にロータリークラブがあり、ロータリアンたちがポリオ撲滅に向けての活動をしています。それぞれの地域で、そしてさまざまな形で、すべての子どもたちにポリオワクチンの投与をするための努力を続けています

国際ロータリー 2760地区

国際ロータリー（以下、RI）は組織上、日本全国を34の地区に分けています。
私たちRI第2760地区は、愛知県全域を管轄とする地区で、82のクラブと5,036名という
日本一の会員数を誇る組織です。（2009年11月現在）

南尾張分区 (7RC)

- 半田 ●常滑 ●東海 ●東知多
- 半田南 ●知多 ●大府

西尾張分区 (9RC)

- 一宮 ●津島 ●尾西 ●一宮北
- 稲沢 ●あま ●名古屋清須
- 尾張中央 ●一宮中央

東尾張分区 (11RC)

- 瀬戸 ●犬山 ●江南 ●小牧
- 春日井 ●尾張旭 ●名古屋空港
- 瀬戸北 ●岩倉 ●名古屋城北
- 愛知長久手

西名古屋分区 (13RC)

- 名古屋 ●名古屋西 ●名古屋南
- 名古屋みなと ●名古屋東南 ●名古屋中
- 名古屋瑞穂 ●名古屋大須 ●名古屋栄
- 名古屋名南 ●名古屋名駅
- 名古屋丸の内 ●中部名古屋みらい

東名古屋分区 (11RC)

- 名古屋北 ●名古屋東 ●名古屋守山
- 名古屋和合 ●名古屋名東 ●名古屋名北
- 名古屋千種 ●名古屋昭和 ●名古屋錦
- 名古屋東山 ●名古屋葵

東三河分区 (13RC)

- 豊橋 ●蒲郡 ●豊橋北 ●豊川
- 田原 ●豊橋南 ●新城 ●渥美
- 奥三河 ●豊川宝飯 ●豊橋ゴールデン
- 田原パシフィック ●豊橋東

西三河中分区 (9RC)

- 岡崎 ●豊田 ●岡崎南
- 豊田西 ●岡崎東 ●豊田東
- 岡崎城南 ●豊田三好 ●豊田中

西三河分区 (9RC)

- 刈谷 ●安城 ●西尾 ●碧南
- 一色 ●高浜 ●知立 ●西尾KIRARA
- 三河安城

最も身近な活動・例会

ロータリークラブでは、原則として毎週クラブの例会が行われます。例会に出席することは、ロータリアンの三大義務のうちの1つ。親睦と奉仕の基礎となるもので、楽しみながら修練を積み重ねる場でもあります。

例会は、各クラブ独自の方針により運営されています。そのため、クラブによっては非常にユニークな例会を行っている所もあり、ロータリークラブの独自性を物語っています。

広がるネットワーク

ロータリアンは、自分の所属するクラブ以外にも、他クラブの例会へ参加することが出来ます。「メイクアップ」と呼ばれる他クラブへの出席は、ロータリアンの同士として大いなる歓迎をもって迎えられ、クラブの垣根を越えて友好の輪を広げることが出来ます。

多彩な活動

例会以外にも、クラブごとに独自の活動が行われています。奉仕活動をはじめ、講演・研修などの勉強会、家族を含めた親睦活動など、ロータリアンとしての研鑽と会員相互の友好の輪を広げる、さまざまな企画が実行されています。

ロータリー会員からのメッセージ

ようこそ “ロータリークラブ”へ

ロータリークラブは、1905年2月23日、アメリカ・シカゴの一青年弁護士ポール・P・ハリス他3名が「良い社会をつくるためには、異業種の人が集い、お互いの職業を理解し、且つ親睦と友情を深め、相互に発展し、社会に奉仕することが大切だ」と語り、この理想を広く人々に呼びかけたことをきっかけに誕生しました。

その後、アメリカからさらに多くの国へと国際的な広がりをもって発展し、世界中にロータリークラブが創設されました。

ロータリークラブとは「奉仕の理想を各人の個人生活、職業生活および社会生活の実践の基盤とすることに同意した事業および専門職務に携わる人によって構成されたクラブ」です。

この奉仕の理想は、ロータリーのネットワークが世界中に張り巡らされることにより、奉仕を志す人を結びつける糸の役割を果たしています。世界のどこに住んでいようとも、考えや行動に奉仕の理想が生きているのです。

約100年前、わずか4人で始めたロータリー運動は、今や120万人以上の仲間を全世界に有する規模にまで発展しました。そして現在もなお、大きく進化し続けています。私たちロータリアンは、一人でも多くの仲間とロータリーの理想を共有し、奉仕活動を共に行うために働きかけております。

現在の主な活動内容としては「識字率向上プログラム」「世界からポリオ（骨髄性小児麻痺）を撲滅する運動」などが挙げられます。また、日本のロータリーが力を入れている「国際奨学事業」では、ロータリー財団による奨学金、青少年の国際的な学生交換、そして米山奨学金を3本柱に取り組んでいます。今後は、地元と世界における奉仕活動をメディアや地域社会に広め、国際的な地位を築いてゆかなければなりません。

「新しい仲間づくりこそ、ロータリー活動の第一歩なのです。

貴方もロータリアンに・・・。」

2009-2010年度 地区会員増強委員会
委員長 小山 慎介

ロータリークラブへの入会には、会員の推薦が必要です。詳しくは、ガバナー事務所もしくは、あなたの居住地・勤務先所在地のロータリークラブへお問い合わせ下さい。

ロータリーの綱領

ロータリーの綱領は、有益な事業の基礎として、奉仕の理想を鼓吹し、これを育成し、特に次の各項を鼓吹、育成することにある。

- 第一 奉仕の機会として知り合いを広めること
- 第二 事業および専門職務の道徳的水準を高めること
あらゆる有用な業務は尊重されるべきであるという認識を深めること
そしてロータリアン各自が、業務を通じて社会に奉仕するために、その業務を品位あらしめること
- 第三 ロータリアンすべてが、その個人生活、事業生活および社会生活に常に奉仕の理想を適用すること
- 第四 奉仕の理想に結ばれた、事業と専門職務に携わる人の世界的親交によって、国際間の理解と親善と平和を推進すること

THE 4-WAY TEST

4つのテスト

Of the things we think, say or do

言行はこれに照らしてから

1 *Is it TRUTH?*

真実かどうか。

2 *Is it FAIR to all concerned?*

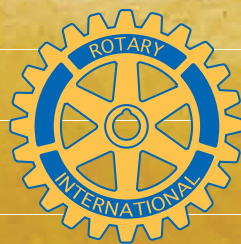
みんなに公平か。

3 *Will it build GOOD WILL and
BETTER FRIENDSHIPS?*

好意と友情を深めるか。

4 *Will it be BENEFICIAL to
all concerned?*

みんなのためになるかどうか。



**ROTARY
INTERNATIONAL
DISTRICT 2760**